

教科目名 経済学概説 (Economics)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ○科目)

単位数など : 選択必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 46.5時間)

担当教員 : 柴田茂紀

授業の概要			
経済学は、現実の経済や日々の経済ニュースを考える上で欠かすことのできない学問体系です。人々は意識的・無意識的に経済を理解しようとしませんが、偏った知識では全体像を理解することができず、誤解や誤った判断をしてしまう傾向にあります。よってこの授業では、経済学について基本的な考え方を全体的に幅広く学んでいきます。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 日々のニュースで見聞きする経済問題について、複数の角度から考える視野を身につける。(定期試験と課題)			
(2) 多様な経済政策の目的・影響・背景が理解できる。(定期試験と課題)			
(3) 経済学や経済統計の考え方を身につける。(定期試験と課題)			
(4) いくつかの側面から、世界の経済的つながりを理解できる。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	経済学の分析対象	○経済学の基本概念を学ぶ。	【理解の度合い】
2	希少性と生産要素	○「資源」や「生産要素」の利用に関する考え方を学ぶ。	
3	資源配分と所有権	○現実の経済を考える上でも重要な市場メカニズムの基本を学ぶ。	
4	需要と供給	○資源配分と所得分配のメカニズムに関する基礎的な考え方を学ぶ。	
5	価格決定と「弾力性」という概念		
6	産業構造の変化と資源配分		
7	所得分配		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○各経済主体の「つながり」を理解する。	【理解の度合い】
10	経済循環	○どのような場合に政府の役割が必要なのか、事例とともに学ぶ。	
11	政府の役割(1)―市場の失敗	○今日の環境問題や社会問題を経済学的に考える。	
12	政府の役割(2)―環境問題	○国の経済規模や経済成長を考えるための基礎理論を学ぶ。	
13	政府の役割(3)―社会保障		
14	国内総生産		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	景気循環	○景気変動についての基本的な考え方を学ぶ。	【理解の度合い】
17	内需と外需	○景気変動の要因や影響に関する基本的な考え方を学ぶ。	
18	景気変動と設備投資	○世界経済の結びつきが、自分たちの暮らしにどのように影響するのか考える。	
19	経済のグローバル化		
20	貿易と景気変動		
21	実質賃金の推移		
22	対外直接投資と産業空洞化		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○ある価格の変化が、全体的にはどのような影響を与えるのか考える。	【理解の度合い】
25	インフレとデフレ	○過去の事例を取り上げながら、バブル経済が発生する要因を学ぶ。	
26	バブル経済	○財政政策や金融政策といった経済政策が、日々の暮らしにどのような影響を与えているのか考える。	
27	原油価格の推移と世界経済		
28	財政政策―公共投資と乗数効果		
29	金融政策―日本銀行の役割		
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		教科書を読んだ上で授業に出席しなければならない。	【総合達成度】
教 科 書		【前期】岩田『経済学への招待』新世社、2007年。 【後期】岩田『景気ってなんだろう』筑摩書房、2008年。	
参 考 図 書		必要に応じて、講義中に紹介する。	
自学上の注意		講義中に指示する予習・復習の範囲を十分に自学すること。	
関 連 科 目		現代社会(1年), 政治・経済(1年)。	
総 合 評 価		・達成目標の(1)～(4)について4回の試験と4回の課題で評価する。 ・総合評価=(定期試験の平均点)×0.8+(課題(4回)の平均点)×0.2 ・総合評価が60点以上を合格とする。 ・再試験の受験資格は、課題を全て提出した者に限る。	